
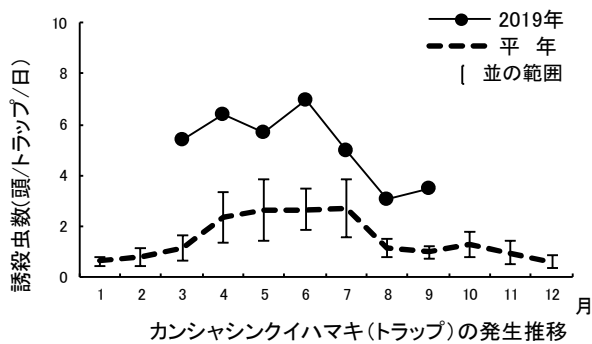
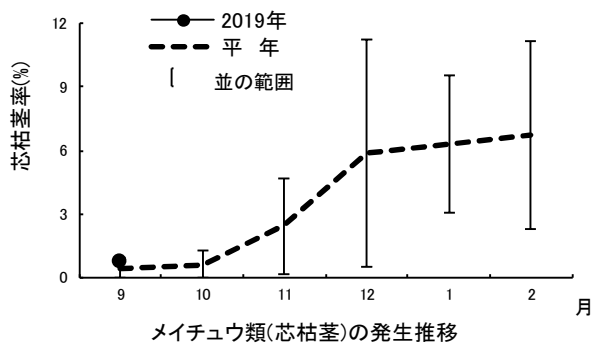


作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)		
予報	10 月の発生量 (平年比)	並	
	9 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (→)	


調査結果



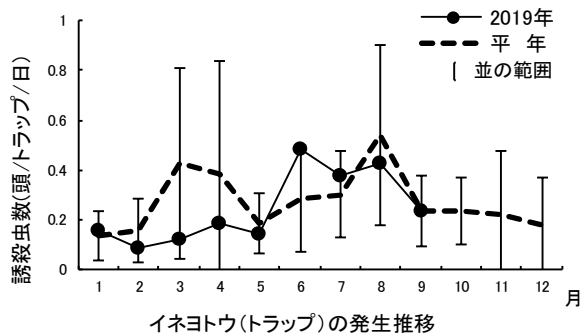
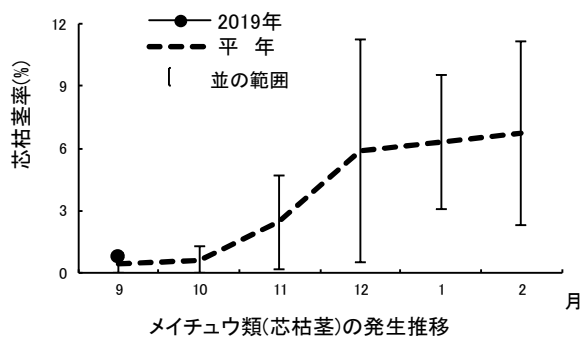
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類 (11頭) のうち11頭(100%)がカンシャシクイハマキであった。
- ・ 病害虫防除員報告：多発生 (久米島)

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	② メイチュウ類(イネヨトウ)		
予報	10 月の発生量 (平年比)	並	
	9 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (→) トラップ誘殺虫数が平年並	


調査結果



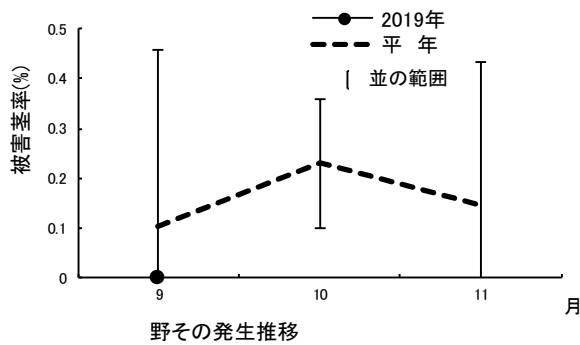
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類 (11頭) のうち11頭(100%)がカンシャシクイハマキであった。
- ・ 病害虫防除員報告：多発生 (久米島)

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび		地域	沖縄本島
病害虫名	③ 野そ			
予報	10 月の発生量 (平年比)	並		
	9 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	9 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果



- ・病害虫防除員報告：多発生（久米島）

防除のポイント

- ・管理されていない耕地などで繁殖するため、ほ場周辺も含めて雑草防除等の管理作業を行う。
- ・野積みされた剥葉残さなどに巣を作るため、野積みを行わない。
- ・被害は台風で倒伏した収穫前のほ場で多い。
- ・被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。



野そによる茎の食害